



苓南寮便り

No.011

2021.9.22

《発行》 社会福祉法人 北斗会
障害者支援施設 苓南寮

〒863-0049 TEL: 0969-22-3393
熊本県天草市北原町5-14 FAX: 0969-23-0746
E-MAIL: reinan@miracle.ocn.ne.jp URL: <http://k-hokuto.jp/>

【苓南寮利用者数】

施設入所:37名/GH花しょうぶ:9名・花みずき:6名・花あおい:2名/通所:17名/合計71名



『防災の日を迎えて』

9月1日は「防災の日」です。防災の日とは、国民のみなさんが台風、大雨、高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、それらの災害に対処する心構えを準備するためとして、1960年に制定されました。

どうして9月1日になったかと言いますと1923年9月1日に発生し、10万人以上の死者・行方不明者を出した『関東大震災』や1959年9月に5000人を超える死者・行方不明者を出した『伊勢湾台風』に由来しているものです。

また、9月は台風が多い時期からも、この時期は防災について考えるいい機会として8月30日(月)から9月5日(日)の1週間を防災週間として、地域でも防災訓練などの活動が行われています。

近年、大型台風や大規模地震、ゲリラ豪雨など自然災害が、毎年、頻繁に起こるなかで、苓南寮でも、あらゆる状況を想定した防災訓練を職員、利用者合同で実施すると共に、もしもに備え3日分の非常食を用意しており、防災の日には実際、それを用意して三食試食してもらっています。

『コロナ禍の今』

まん延防止等重点措置が適用の中、苓南寮では感染対策とストレス解消を図りながら支援しております。利用者、職員のワクチン接種状況は、希望者全員2回目を終える事が出来ました。また、苓南寮の作業は、販売会の中止等、コロナ禍の影響を多少受けてはありますが、各部とも仕事が途切れる事なく、ほぼ安定しております。



花しょうぶ見学



昨年に引き続き、残念ながら西の久保公園での花しょうぶ祭りの開催はありませんでしたが、今年も少人数のグループに分かれて花しょうぶの見学に行きました。

コロナ禍ではありますが、例年と変わらず丁寧に手入れされ、育てられた満開の花しょうぶを堪能することができ、皆さんとても楽しまれました。



かかしに紛れて座る方もここにいろのかわからない?!

ショッピング & ドライブ

なかなか外出できない入所の利用者の方を対象に、少人数のグループでショッピング、ドライブに行きました。

人気スポットは3月にオープンした「宮地岳かかしの里」。様々なポーズ、表情のかかしに癒されたり驚いたり。帰りにお土産を買われるなど、楽しまれました。



7月30日の夕食では、夏祭りをイメージしたメニューを提供しました。わたがし、たこ焼き作りを実演、その他に焼きそば、唐揚げなどで夏祭り気分を味わって頂きました。

初めての試みで至らない点もあったかと思いますが、このコロナ禍を乗り切るまで、少しでも利用者の皆さんに楽しみを提供できるよう、アイデアを出し合いながら、企画していきたいと思ひます。





利用者だより ①

「私と料理」

利用者 橋本 智美

私が料理作りにハマるきっかけは、小学生の頃の調理実習でした。

最初に習ったのは、「ギョーザ」と「ミルクブラマンジェ」で、ギョーザ作りをしたときは、あんを皮で包むのに悪戦苦闘していましたが、デザート作りは、材料を混ぜるだけでもものすごく簡単にできたのを覚えています。それから、中学、高校の調理実習をして行く中で、だんだん料理を作るのが楽しくなっていました。

今は、グループホームで日曜日のお昼は、自分で食べる分を色々作っています。味付けは、目分量でメニューも自分で考えて、材料を買いに行っています。

作った料理は写真に撮って保存しています。写真を撮る事によって自分が今まで何を作ってきたのかを見返して、いずれは料理本を作成したいと思っています。

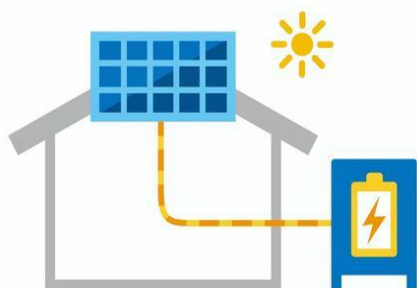
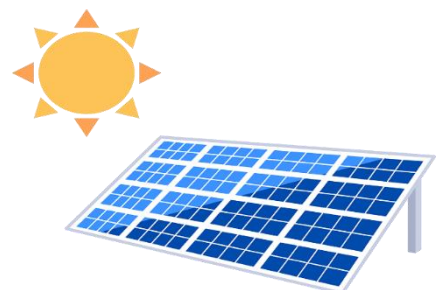
まだまだ、作った事のない料理が沢山あるので、難易度のある料理に「チャレンジ」できたら良いなあと思います。私にとって料理とは、自分で色々考えて作り、それを写真に残して楽しむことかなあと思います。最後に今まで作ったメニューを少しだけ紹介します。



「太陽光発電・蓄電システムによる非常用自家発電設備を設置します！」

サービス管理責任者 松岡 義高

災害による停電時の電源確保の為、数年前から非常用自家発電設備設置について検討・計画を進めてきました。想定される災害は、地震、台風、高潮、大雨による浸水等の可能性があります。熊本地震では大きな被害はありませんでしたが、大地震への訓練や備えは改善及び見直しを実施しています。台風は、例年、上陸や接近により近隣で半日程度の停電があり、高潮や大雨については土砂災害、浸水害の特別警報が発出され、苓南寮は浸水想定 50 cm未満の区域に入ります。また、苓南寮から 500mにある広瀬川の氾濫については、最大浸水 3~5mの区域に入り、避難確保計画を策定しています。近年の災害は、大規模な停電や断水、食料不足等が発生し、ライフライン等の確保が最重要課題となっています。



苓南寮においては、日常生活上の支援を必要としている方が多数利用していることから、ライフライン等が長時間寸断され、サービス提供の維持が困難となった場合、利用者の生命・身体に著しい影響を及ぼす恐れがあります。停電時は、照明はもちろん、冷暖房、調理機器、エレベーター等が使用不可となります。今年度、国・県の補助事業を活用して、苓南寮入所棟の屋上に太陽光発電・蓄電システムを設置します。発電した電力を平常時は自家消費し、非常時には蓄電池からの電力を使用して、利用者の生活を守り、サービス提供の維持ができるようにします。また、地域における福祉避難所として要配慮者等の受け入れに対応していきます。9月半ばから着工、12月に完工の見込みです。



利用者だより ②

「3年目に思うこと」

利用者 馬田 竜生

窯業で2年たちました。

僕は今「はにわ」や「アマビエ」を作っていますが、コーヒー豆の選別もしていました。

コーヒー豆にはブラジル産とグアテマラ産がありました。

最初はわからなかったりしたので指導員さんにいっぱいたずねました。

時間はかかりましたが、少しずつ上達し、いつの間にか早く選別できるようになりました。

コーヒー豆を選別している時は夢中になって取り組みました。できなかったことができるようになってとてもうれしかったです。

コーヒー豆は今一時中断になっていますが、再開されるのが楽しみでたまりません。

また、僕は人と話すのがとても苦手でしたが、少し相手と話すことができるようになったと思います。

なんど教えてもらってもわからないこともあります。相手の話を理解するように心がけ賃金が増えるように頑張っていきたいです。



↑馬田さんが作った「はにわ」の置物と「アマビエ」の紐付き飾り。
大きい「はにわ」はランプ/キャンドルシェードに、小さい方は箸置きにも使える。

♡職員紹介♡

今春、入職となった職員の自己紹介です。
よろしくお願いいたします。

入職して半年になる、看護師の岩崎直美です。以前は、脳梗塞や、肺炎を起こした方々や、人生の終末を迎えられる方々が入院されている病院で、看護師として働いていました。

今回、医療現場とまた違った場での看護業務を学びたく、こちらの苓南寮でお世話になることとなりました。苓南寮にきて半年がたちますが、利用者の方々の健康管理や、病院受診の付き添い、書類申請のことなど、新たに学びながらまた、皆さんに声をかけていただきありがたく日々を過ごしています。日々過ごす中で、心と体はつながっているといつも思っています。心の健康・体の健康どちらも大切にしながら、利用者の方々の健康管理のお役に立てればと思っております。今後も、よろしくお願いいたします。



「北斗会合同文化展」開催中止のお知らせ

毎年10月に、地域交流の場として開催しております『北斗会合同文化展』は、新型コロナウイルス感染防止の為、昨年に引き続き本年度も開催を中止することに決定いたしましたのでお知らせします。

新型コロナウイルス感染症の一刻も早い終息を願うと共に、来年こそは利用者並びに保護者の皆様、地域の方々が、より一層楽しめる交流の場としての『北斗会合同文化展』を開催したいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

今回、苓南寮便り第11号を発行致しましたので、どうぞご覧下さい。

尚、本紙掲載の写真や記事につきましては、個人情報保護法に基づき、利用者の承諾を得て掲載しております。